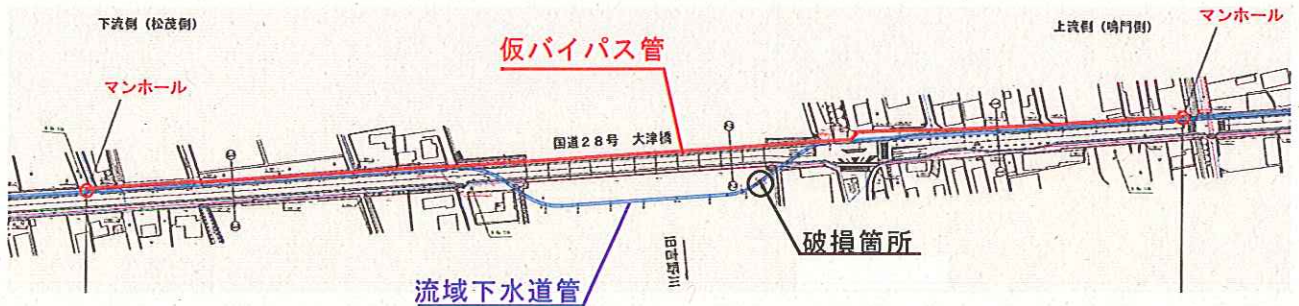


旧吉野川流域下水道管渠破損事故について

- 発生日：平成26年5月10日（土）（5月11日（日）11時頃判明）
- 事故概要：国土交通省が実施する旧吉野川堤防耐震対策工事中において、仮設ヤード造成のために河道内に打設した鋼矢板により流域下水道管（幹線管渠）を破損
- 発生場所：鳴門市大津町 大津橋下流地点の旧吉野川左岸
- 管渠位置：鳴門松茂幹線 旧吉野川の河床下約5m（水面下約11m）
- 管渠構造：内径1,350mm，外径2,000mm，シールド工法による施工
- 応急対策：5月26日に着手
 - ①仮バイパス工事：マンホール間を仮バイパス管で繋ぎ，汚水の流れを確保
 - ②本管仮止水工事：閉塞プラグで破損箇所をふさぎ，河川水流入を止める

仮バイパス工事（平面図）



（縦断イメージ図）

